園 だ よ り

2026. 9月号

くすのき保育園

E メール　kusunoki_mori@feel.ocn.ne.jp

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://minnanomori.jp/hoiku/kusunoki/

遊びから身体づくりを考える

例年より少し早めに始まったプール遊びも、あっという間にプール納めを迎えました。プールが怖くて入れなかった子、顔にかかるのが苦手だった子がプールの中で友だちと楽しそうに遊ぶ姿をみると、この夏、心も体も大きく成長したことが良く分かります。



また今年は暑さ対策で玄関にエアコンを設置しましたが、廊下が涼しくなったこともあり、子どもたちの遊び場が広がっています。0歳児の子どもたちは長い廊下をたっぷりとハイハイしたり、一歩一歩の歩行を楽しんだり、玄関テーブルやひだまりの部屋から「いないいないばあ」と顔を出し、やりとりを楽しんでいます。幼児クラスの子どもたちはテーブルを並べてその下をワニのように這ったり、戸板登りをしたり、バランスストーンという運動用具で飛び石のようにしてバランスを取りながら進む遊びを楽しんだりしています。今まではにじの部屋を順番に使い運動遊びやごっこ遊びを楽しんでいましたが、廊下でもこういった遊びが出来るようになりました。外遊びも制限される状況の中、子どもたちの身体を動かしたいの欲求にどう環境を整えていくのか考えていくことも大切です。



「子どものからだの調査2025」の結果報告では、からだの変化による重要課題として3点あげられています。「偏食の子」「コミュニケーションが苦手」「視力が弱い・ネット依存」。身体を動かす楽しさを経験している子はそのリスクはかなり抑えられます。身体を動かすと自然とお腹が減る、仲間と関わって遊ぶ事はやり取りする力が自然につく、外でたくさん遊ぶことでスマホやテレビに触れる時間が自然に減る…。私たち大人が意識することで子どもたちの身体の成長を守っていきたいですね。

保育参加お待ちしています！

今年度もすでに多くの保護者の方が保育参加に来て子どもたちと一緒に過ごしてくれています。保育参加は子どもたちが園でどんな毎日を送っているのか、そして、友だちや担任とどんな関わりをして過ごしているのかを知る機会となっています。また担任との昼のお話タイムでは園の姿と家庭の姿を共有していくことで同じ目線で笑い合ったり、考えたりできる場となっています。最近ではご両親で来たり、年に2回参加してくれたり、給食のメニューで日程を決めましたという方もいます。**年に一度は保育参加**！を合言葉にぜひ気軽に保育参加にお越しください。※保育参加を希望される方は一週間前までに担任までお知らせ下さい。

～保育参加感想文より～

・何日も前から楽しみにしてくれていた保育参加。プール遊びでは飛び込みをする姿を見せてくれてとてもイキイキしていました。ちゃんと順番を守って並んだり、当たり前のことですがそれをしっかりと学ばせてもらっているなと感じました。家ではあまり食べない給食メニューもモリモリ食べていて驚きでした。

～ちょう組保護者～

・普段の園での様子を見つつ、一緒にプールをしたり工作したり楽しい時間が過ごせました。友だちとの関わりも気になっていたので一緒に一つの物を作っていたり、折り紙を教え合っている姿が見られ安心しました。

～さなぎ組保護者～

・一緒にプールに入らせていただき、ちょう組の子どもたちが「見て見てー」とできるようになったことを見せてくれたり、「一緒に遊ぼう」と誘ったりしてくれてかわいいな～と思うと同時に、水着に着替え終わった子から自分たちで体操を始めている姿や給食当番も子どもたちでどんどん進める姿が見られてたのもしいな、さすがちょう組さんだなと感じました。

～ちょう組保護者～